

「あいち国際戦略プラン 2027」中間評価

1 中間評価について

愛知県では、2022年12月に「あいち国際戦略プラン 2027」を策定し、2027年度までの5年間に取り組むべき施策の方針を示し、目指すべき愛知の姿「世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知」の実現に向けて、国際関連施策を着実に実施している。

本プランを着実に推進するために、知事を本部長とする国際戦略推進本部のもと、毎年度事業計画を取りまとめ、進行管理を行うとともに、前年度実施した各事業の進捗状況を確認し、次年度以降の施策の推進に努めてきた。

2025年度は、計画期間の中間年に当たることから、本プランに位置付けたそれぞれの目標の達成状況と、今後の方向性を確認するため、有識者の意見を踏まえながら、本プランの中間評価を実施した。

【意見をいただいた有識者】

五十音順、敬称略

氏名	団体・役職名
鮎京 正訓	名古屋大学名誉教授
岩崎 誠	名古屋工業大学留学生センター長
クリス・グレン	インバウンドアドバイザー 有限会社パスト・プレゼント・フューチャー代表取締役
黒宮 和敬	豊田通商株式会社経営企画部長
平野 修一	ジェトロ中部・北陸地域本部本部長 名古屋貿易情報センター所長
南田 あゆみ	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部主任研究員
村田 重雄	国際連合地域開発センター所長
横山 陽二	東海学園大学客員教授

2 あいち国際戦略プラン 2027 の概要

本プランは、本県が世界とつながり成長する地域であり続けるために、「時代に即したグローバル人材の輩出」、「外国人材の活躍による地域の発展」、「愛知ならではの魅力の認知による愛知のブランドの確立」、「愛知型成長モデルによる産業の発展」が組み合わさることで達成される、「世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知」の実現を目指している。

目指すべき愛知の姿の実現に向けて、「若者のグローバル人材としての育成」、「仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進」、「愛知ならではの多様な魅力の発信」、「愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化」という 4 つの分野別戦略を柱立てし、「ウィズコロナ・アフターコロナの国際社会の変化」及び「変化する国際情勢における海外地域との交流」の 2 つの視点を、戦略を推進するに当たり留意すべき横断的な視点として位置付け、2023 年度から 2027 年度に取り組むべき国際関連施策を示している。

目指すべき愛知の姿			
世界と行き来するヒト・モノ・カネ・情報により成長を続ける愛知			
時代に即したグローバル 人材の輩出	外国人材の活躍による 地域の発展	愛知ならではの 魅力の認知による 愛知のブランドの確立	愛知型成長モデル による産業の発展
目指すべき愛知の姿を実現する戦略・施策の方向性			
<p>若者のグローバル 人材としての育成 (国際性×創造性)</p> <p>(施策の方向性)</p> <p>①英語力、コミュニケーション 力の育成</p> <p>②国際感覚の醸成</p> <p>③イノベティブな人材の育成</p>	<p>仕事、生活の充実による 外国人の活躍、定着の促進 (海外の知識×地域の力)</p> <p>(施策の方向性)</p> <p>④外国人留学生の受入、 活躍促進</p> <p>⑤外国人材の就業、起業促進</p> <p>⑥外国人も住みやすい地域づくり</p>	<p>愛知ならではの 多様な魅力の発信 (伝統×最先端)</p> <p>(施策の方向性)</p> <p>⑦愛知ならではの魅力を活かした 外国人旅行者の誘致</p> <p>⑧国際イベントの誘致、活用</p> <p>⑨国際交流拠点としての機能強化</p>	<p>愛知型成長モデルによる 産業の国際競争力強化 (モノづくり×デジタル化)</p> <p>(施策の方向性)</p> <p>⑩イノベーションの創出</p> <p>⑪国際ビジネスの拡大支援</p> <p>⑫外国企業等の誘致</p>
横断的な視点			
ウィズコロナ・アフターコロナの国際社会の変化 / 方法・内容の両面で施策を柔軟に展開			
変化する国際情勢における海外地域との交流 / 幅広い地域との提携を活かし次代を担う若者を中心に多層的な交流を展開			

策 定：2022 年 12 月

計画期間：2023～2027 年度

3 中間評価

<国際戦略全般に対する中間評価>

- ・ コロナ禍を経て、デジタル化の進展や厳しさと複雑さを増す国際情勢が、様々な分野の国際交流に影響を及ぼしている中、こうした変化に適宜対応していく必要があるが、本県が世界とつながり成長する地域であり続けるために、次代を担う若者を中心に幅広く多層的な交流を実施し、未来に続く施策を展開するという戦略の重要性に変わりはない。
- ・ したがって、「若者のグローバル人材としての育成」、「仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進」、「愛知ならではの多様な魅力の発信」、「愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化」という4つの分野別戦略の柱立ては変えることなく、現在の国際戦略を推進していくべきである。
- ・ なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が進捗管理指標の数値に表れているものの、各指標の数値は大部分が大幅に回復しており、今後、更に伸びてくるものと期待される。
- ・ 今後は、本県において開催される第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会（2026年）、第60回アジア開発銀行年次総会（2027年）、第49回技能五輪国際大会（2028年）など、大型イベントの開催を好機と捉えて国際戦略を推進していくべきである。
- ・ また、愛知県の魅力を国内外に広く発信するとともに、経済界、大学等教育機関、県内市町村等と密接に連携・協力し、推進することが重要である。
- ・ なお、今後の事業については、米国による関税措置、ウクライナや中東、アジア情勢などにより大きく変化する国際情勢を見極めながら、適切に実施していく必要がある。

＜各分野に対する中間評価＞

進捗状況の評価基準の考え方は以下のとおりである。

- (1) 2027 年度における単年度目標：
(最新値－策定時点) / ((目標値－策定時点) × 5 分の 2)
- (2) 2027 年度における単年度目標 (※一部指標)：最新値 / 目標値
- (3) 5 年間の累計目標：最新値 / (目標値 × 5 分の 2)

※一部指標：目標値が策定時の値以下のものは、進捗での管理ができないため、最新値と目標値を比較

進捗状況の評価判定	状況
◎	順調に進捗 (90%以上)
○	概ね順調に進捗 (70%以上 90%未満)
△	努力が必要 (70%未満)

※2024 年度が未確定の項目は、2023 年度の実績等の最新値により評価

(1) 若者のグローバル人材としての育成

これまでの主な取組

- あいちリーディングスクール事業の実施
英語教育拠点校での ALT の重点配置、海外研修等を実施
- 米国 2 州と覚書をアップデート
テキサス州 (2024.7)、ケンタッキー州 (2024.7)
- 提携先との高校生訪問団の相互派遣
タイ・バンコク都、韓国・京畿道、中国・広東省
- 県立高等学校での中高一貫教育の導入、整備の推進
- 県がんセンターとテキサス州 MD アンダーソンがんセンターとの連携事業の実施

進捗管理指標

進捗管理指標	策定時	数値目標	最新値	進捗状況
県立高校第3学年において、英検準2級以上を取得している生徒及び英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合	39.2% (2021年度)	50% (2027年度)	46.6% (2024年度)	◎
日本人学生留学数	8,329人 (2020年度)	9,100人 (2027年度)	6,635人 (2023年度)	△
県が海外スタートアップ支援機関等と連携して実施する教育プログラムへの本県からの参加者数	216人 (2021年度)	216人 (2027年度)	127人 (2024年度)	△

今後の留意点

①英語力、コミュニケーション力の育成

- 引き続き英語教育の拠点となる県立高等学校を指定し、英語を高いレベルで使いこなす人材の育成を目指す「あいちリーディングスクール事業」を実施するとともに、小中学生及び高校生を対象に、英語に対する自信と興味・関心を高め、相互理解の大切さを学ぶための「イングリッシュキャンプ in あいち」を開催するなど、外国語教育の充実を図る。

②国際感覚の醸成

- グローバル人材には、自国と異なる文化への理解も求められる。海外の提携先地域への高校生訪問団の派遣及び受入れを実施するなど、県内の学生が海外の文化等に直接触れ、異文化に対する理解を深める機会を引き続き提供していく。
- 中高一貫校の津島高等学校、西尾高等学校及び時習館高等学校に国際バカロレア教育の導入を目指すとともに、探究的な学習を推進するための先進的な教育課程の研究と成果の普及に取り組んでいく。

③イノベティブな人材の育成

- 本県への高度人材の誘致や、県内大学等の人材育成を促進するため、これまで関係を構築してきた海外の大学や支援機関等との間で、人材交流や技術交流を深化させていくとともに、新たな海外大学等との連携、協力関係の構築に向けた検討を進めていく。

(2) 仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進

これまでの主な取組

- 愛知の産業グローバル化を支える留学生の受入れ
- 留学生インターンシップの実施及びジョブフェア等イベントの開催
- 外国人介護人材の受入促進
- あいち外国人起業&経営支援センターの運営
- あいち外国人材受入サポートセンターの設置・運営
相談窓口の設置、企業向け伴走型支援・セミナー、合同企業説明会の実施
- 日本語初期指導教室、プレスクール運営等への補助

進捗管理指標

進捗管理指標	策定時	数値目標	最新値	進捗状況
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数	1,196 人 (2020 年)	1,600 人 (2027 年)	約 1,700 人 (2024 年)	◎
高度外国人材の在留人数	24,667 人 (2021 年)	27,000 人 (2027 年)	34,550 人 (2024 年)	◎
初期日本語教育に取り組む市町村数	8 市町村 (2022 年度)	20 市町村 (2027 年度)	14 市町村 (2024 年度)	◎

今後の留意点

④外国人留学生の受入、活躍促進

- ・ 本県の産業グローバル化を支える人材を確保するため、「愛知の産業グローバル化を支える留学生受入事業」として学費等の奨学金を支給するなど、引き続き留学生の受入支援を行っていく。
- ・ また、産学行政が連携した留学生インターンシップの実施やジョブフェア等のイベントの開催等により県内企業への就職支援を行うとともに、留学生に対して就職活動、日本語学習及び生活等に関する情報発信を行うことにより、留学生の当地域への定着及び活躍を促進していく。

⑤外国人材の就業、起業促進

- ・ 本県での起業を希望する外国人に対し、入国から一定期間の間の起業に関する活動を特例的に認めることに加え、起業活動の定期的な支援を行うなど、海外の有望な外国人起業家の受入れを拡大していく。
- ・ あいち外国人材受入サポートセンターにおいて、引き続き企業・外国人双方からの相談に対応するとともに、外国人材の受入れに不安や課題を抱

える企業を対象にした専門家による伴走型支援を実施するなど、県内中小企業における外国人材の確保及び外国人の就労を支援していく。

⑥外国人も住みやすい地域づくり

- ・ 地域における日本語教育の総合的な体制づくりに向け、あいち地域日本語教育推進センターを中心として情報発信等を行っていくとともに、総括コーディネーターによる地域日本語教育の関係機関・関係者への指導・助言やあいち地域日本語教育コーディネーターの派遣等を行っていくほか、2027年に開始が予定される育成就労制度等を背景とした外国人材の増加を見据え、日本語教育を受けられる体制の拡大に向けて検討を進めていく。
- ・ 外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫教育を導入するとともに、進学や就職に向けた切れ目ない支援のため、外国人児童生徒等を対象としたインターンシップの実施や県立高校への就労アドバイザーの配置等を行っていく。

(3) 愛知ならではの多様な魅力の発信

これまでの主な取組

- ジブリパーク全5エリア開園（2024.3）
- 愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」の開催（2025.3～9）
- 愛知「発酵食文化」振興協議会によるインバウンドの誘致
- 愛知国際アリーナ（IGアリーナ）開業（2025.7）
- 国際芸術祭「あいち2025」の開催（2025.9～11）
- 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会を契機としたプロモーション
- 2028年技能五輪国際大会の招致、開催準備
- MICEの誘致促進、開催支援
 - AXIA EXPO（2024～）
 - ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸（2025.9）
 - 第60回アジア開発銀行年次総会（2027）

進捗管理指標

進捗管理指標	策定時	数値目標	最新値	進捗状況
外国人観光消費額	2,397 億円 (2019 年)	3,040 億円 (2026 年)	3,060 億円 (2024 年)	◎
国際会議の開催件数	216 件 (2018 年)	260 件 (2026 年)	96 件 (2024 年)	△

今後の留意点

⑦愛知ならではの魅力を活かした外国人旅行者の誘致

- 多くの旅行者を呼び込む従来の「量」を求める観光から、「質」を重視する観光への転換を図ることにより、地域が観光によって収益を上げる力の向上に取り組んでいく。
- 歴史や産業、自然、文化、食などの豊かな地域資源を観光コンテンツとして磨き上げ、高付加価値化を推進していくとともに、国・地域別など訪日外国人旅行者に訴求する観点を重視したコンテンツ造成を支援していく。
- 公式観光サイトや SNS、広報動画による情報発信を多言語で実施するとともに、県内在住外国人、留学生など外国人の視点を活かした、効果的な情報発信等を行っていく。

⑧国際イベントの誘致、活用

- 2026 年の第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会、2027 年の第 60 回アジア開発銀行年次総会、2028 年の第 49 回技能五輪国際大会など、大型イベントの開催を好機として、地域の活力や国際的な発信力の向上につなげていく。
- テクニカルビジット^{※1}・ユニークベニュー^{※2}等の開発・活用促進や高級ホテルなどの充実化を進めるとともに、市町村や経済界、学術機関等と連携して、MICE の更なる誘致・開催に向けた取組を進めていく。

※1 企業を訪問し、その企業の技術や経営理念などについて、工場見学等を通じて学ぶ産業視察。

※2 「博物館・美術館」「歴史的建造物」「神社仏閣」「城郭」「屋外空間（庭園・公園、商店街、公道等）」などで、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。

⑨国際交流拠点としての機能強化

- ・ 「中部国際空港の将来構想」の第一段階である代替滑走路の整備や、航空需要の拡大に向けた取組を進めていく。
- ・ 愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）や2025年開業の愛知国際アリーナ（IGアリーナ）を核に国内外の各種イベントや展示会等の誘致を積極的に進め、国際交流拠点としての機能強化を図る。

（４）愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化

これまでの主な取組

- スタートアップの創出・育成
 - 「STATION Ai」の開業（2024.10）
 - 「TechGALA Japan」の開催
- 海外のスタートアップ支援機関・大学との連携によるスタートアップ支援
- 海外の水素先進地域との連携
- SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE の開催（2024.3）
- 国際的な展示会への県内企業の出展支援
 - グローバル・インダストリー、パリ・エアショー、
 - エアロマート・トゥールーズ等
- 海外産業情報センター、サポートデスクにおける海外進出企業の支援

進捗管理指標

進捗管理指標	策定時	数値目標	最新値	進捗状況
スタートアップと様々なプレーヤー間の共創による新規事業開発件数	10件 (2019年度)	50件 (2027年度)	107件 (2024年度)	◎
輸出額の全国シェア	20.7% (2019年度)	21.0% (2027年度)	20.0% (2024年)	△
海外拠点における相談件数	393件 (2019年度)	410件 (2027年度)	762件 (2024年度)	◎
外国企業の誘致件数	9件 (2019年度)	40件 (2023～ 2027年度 累計)	14件 (2023～ 2024年度 累計)	○

今後の留意点

⑩イノベーションの創出

- ・ 日本最大のスタートアップ支援拠点 **STATION Ai** を中核にスタートアップ支援を展開するなど、ソフト面の支援の充実を図ることで、スタートアップの創出、誘致、スタートアップと既存企業のオープンイノベーションの推進に取り組んでいく。
- ・ 海外のスタートアップ支援機関等との連携を通じて、海外先進地域の最新の知見の導入、グローバルに活躍するスタートアップの育成、海外のスタートアップと県内企業とのオープンイノベーションの推進、海外スタートアップの誘致に取り組んでいく。

⑪国際ビジネスの拡大支援

- ・ あいち国際ビジネス支援センターや海外産業情報センター、サポートデスクにおける支援、ジェトロや金融機関・商社と締結した協定等に基づく支援等により、海外展開に意欲のある企業や海外へ進出した企業を総合的に支援していく。
- ・ 国内外で開催される展示会・商談会への出展支援を行うとともに、愛知県の国際的なパートナーシップなどを活用して国際的なビジネス交流の機会を継続的に提供することにより、県内企業の海外販路開拓を支援していく。

⑫外国企業等の誘致

- ・ グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）^{※3}やジェトロなどの関係機関との連携、海外産業情報センターによる取組を推進し、海外との経済交流を深めていくとともに、本県への進出に関心を持つ外国企業の掘り起こしやマッチングニーズの把握などを行い、本県への外国企業の誘致や海外からの投資を促進していく。

※3 グレーター・ナゴヤ（名古屋を中心に半径約 100 キロメートルに広がる地域）への事業の展開や拡大に関心のある外国企業に対し、各種進出支援サービスを提供。加えて、当地域の日本企業に対する、海外販路拡大への支援も行う。

- ・ 名古屋市、名古屋産業振興公社等とともに設立した「**INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM**」を通じて、県内企業とのマッチングを行うなど、外国・外資系企業の県内進出・定着を地域一体となって支援していく。

別表「あいち国際戦略プラン 2027」関連事業一覧

■若者のグローバル人材としての育成

主な施策	概要	担当部局
あいち グローバル 人材育成	<p>最も英語を学ぶ年代である高校生の英語力を積極的に強化することを通して、グローバル人材の育成を目指す。</p> <p>(1) あいちリーディングスクール事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT) の常駐・重点配置 (県立高等学校 20 校に配置) ・国内研修事業の実施 ・海外研修の実施 <p>(2) イングリッシュキャンプ in あいち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の児童生徒が様々な国の人とオールイングリッシュによる 1泊2日の共同生活を送る (2023 年度：36 名参加、2024 年度：25 名参加、2025 年度：36 名参加) 	教育委員会
外国人語学 講師の配置	<p>(1) 外国青年語学講師配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立附属中学校に 1 名、県立高等学校に 29 名の ALT を配置 <p>(2) 在県外国人語学講師配置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を母国語とする在県外国人を非常勤の語学講師として、県立高等学校に配置 (専門学科 24 校 100 時間/校、普通科 5 校 200 時間/校) 	教育委員会
友好提携交流	<p>(1) 友好提携先 (ビクトリア州、江蘇省、広東省) との交流事業 友好提携に基づき、相互理解の促進や双方の政策課題解決に資する交流事業を実施。</p> <p><オーストラリア・ビクトリア州> (1980 年締結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・州内実施 2023 5 事業、2024 1 事業、2025 1 事業 ・県内実施 2023 1 事業、2024 1 事業、2025 3 事業 (うち 2025 1 事業大阪万博にて実施) <p><中国・江蘇省> (1980 年締結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省内実施 2023 1 事業、2024 1 事業、2025 1 事業 ・県内実施 2023 1 事業、2024 1 事業、2025 2 事業 (うち 2025 1 事業大阪万博にて実施) <p><中国・広東省> (2019 年締結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省内実施 2023 1 事業、2024 1 事業、2025 0 事業 ・県内実施 2023 0 事業、2024 1 事業、2025 1 事業 <p>(2) 友好提携 5 周年記念事業の実施 (2024 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広東省使節団の本県への受入 ・知事を団長とする使節団の派遣 <p>(3) 友好提携 45 周年記念事業の実施 (2025 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」でのブースやステージ・パフォーマンスの出展 ・県訪問団のビクトリア州への派遣 ・友好訪問団の受入れ <p>(4) 提携先との高校生の相互交流</p>	政策企画局

	<p>2023 年度： バンコク都から高校生訪問団（生徒 13 名）を受入 広東省へ高校生訪問団（生徒 10 名）を派遣 バンコク都及び京畿道内の学校と県立高校でオンライン交流を実施</p> <p>2024 年度： バンコク都へ高校生訪問団（生徒 10 名）を派遣 京畿道から高校生訪問団（生徒 15 名）を受入</p> <p>2025 年度： 京畿道へ高校生訪問団（生徒 10 名）を派遣</p> <p>(5) 米国 2 州との覚書のアップデート ・テキサス州との覚書をアップデート（2024 年 7 月 12 日） ・ケンタッキー州との覚書をアップデート（2024 年 7 月 18 日）</p> <p>(6) 米国・提携州との事業</p> <p>2023 年度 テキサス州で行われる複合イベント「SXSW」の見本市へ県内学生チーム（2 名×2 チーム）を派遣、研究成果発表</p> <p>2024 年度 テキサス州へ高校生訪問団（生徒 5 名）を派遣</p> <p>2025 年度 ケンタッキー州及びインディアナ州へ高校生訪問団（生徒 5 名）を派遣予定</p>	
高等学校の海外連携の推進	<p>(1) 専門高校生海外インターンシップ事業 2023 年度：2 コース、生徒 8 名、教員 2 名 ベトナムにて実施 2024 年度：2 コース、生徒 8 名、教員 2 名 マレーシアにて実施 2025 年度：2 コース、生徒 8 名、教員 2 名 マレーシアにて実施</p> <p>(2) 高等学校男女共同参画推進事業 ・オーストラリア・ビクトリア州において先進事例を視察（2023 年度：3 泊 5 日、生徒 4 名、引率 1 名） ・「あいち男女共同参画社会高校生セミナー」の実施</p>	教育委員会
提携先地域の大学との交流	<p>県立大学と提携先地域の大学との間で学生派遣等の交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベルギー：ブリュッセル自由大学、アントワープ大学 ・フランス・オクシタニー地域圏： トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校 ・オーストラリア・ビクトリア州： ディーキン大学、オーストラリアン・カソリック大学 ・タイ・バンコク都：ナワミンタラティラート大学 ・ブラジル・サンパウロ州：サンパウロ大学 ・韓国：韓国外国語大学、ソウル基督大学 	県民文化局
県立大学におけるグローバル人材育成推進	<p>(1) グローバル実践教育プログラム事業の実施</p> <p>(2) iCoToBa（多言語学習センター）CroCus（異文化交流スペース）を活用した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーション講座 ・留学前準備講座 ・検定試験対策講座 	県民文化局

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ言語講座 ・対面会話指導(iContact)の実施 ・愛知県ユニセフ協会とのイベントを開催 <p>(3) グローバル学術交流事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルに活躍する講師を迎えた学術講演会の開催 ・グローバルな研究の発信と研究交流の実施 <p>(4) 留学生支援(派遣・受入)の充実</p>	
特別選考(外国語堪能者)の実施	<p>(1) 教員採用選考試験における特別選考の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語有資格者特別選考(中学校・英語、高等学校・英語) <p>(2) 教員採用選考試験における加点の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年海外協力隊において2年以上の派遣実績を有する者への加点(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校) ・外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ語)堪能者への加点 ・高等学校教育における英語堪能者への加点(高等学校・英語を除く) ・小学校教育における英語堪能者への加点 	教育委員会
ユネスコスクール活性化事業	<p>ESD(持続可能な開発のための教育)を積極的に推進するユネスコスクールの活動を支援。</p> <p>(1) ユネスコスクール支援会議の開催(年2回)</p> <p>(2) ユネスコスクールへの講師派遣(6校)</p> <p>(3) ユネスコスクール交流会の開催(年1回)</p> <p>(4) ESD・SDGs推進指導者研修会の開催(年1回)</p>	教育委員会
中高一貫教育の導入	<p>SSH(スーパーサイエンススクール)の探究的な学びや国際交流等の取組をベースに、中学校段階から探究的な学びに取り組む。中学校・高等学校への国際バカロレアの導入を目指す。</p> <p>(1) 第一次導入校(2025年4月開校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH実施校:明和高等学校、半田高等学校、刈谷高等学校 ・グローバル探究実施校:津島高等学校 <p>(2) 第二次導入校(2026年4月開校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH実施校:豊田西高等学校、時習館高等学校 ・グローバル探究実施校:西尾高等学校 	教育委員会
海外大学との連携の推進	中国3大学(清華大学、上海交通大学、浙江大学)及びシンガポール国立大学との交流の推進	政策企画局
あいち航空ミュージアム施設連携	<p>米国・ワシントン州のThe Museum of Flightとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代の航空機産業を担う人材育成に関する情報収集等の実施 	都市・交通局
最先端の医療機関との連携	<p>県がんセンターとテキサス州MDアンダーソンがんセンターとの連携事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究の実施(期間:3年間、件数:3件) ・人材交流の推進(2024年度4名派遣、2025年度2名派遣予定) ・シンポジウムの開催 	病院事業庁

■仕事、生活の充実による外国人の活躍、定着の促進

主な施策	概要	担当部局
愛知の産業グローバル化を支える留学生受入事業	<p>本県の産業グローバル化を支える人材を確保するため、世界各国から優秀な留学生を受入れ（奨学金支給）、本県企業への就職を促進 受入期間：2年6か月以内 受入人数：各年度5名</p>	政策企画局
外国人留学生支援	<p>外国人留学生が活用する留学生会館の運営を支援するほか、外国人留学生の県内企業への就職を支援することで当県の発展に資する高度人材としての活躍促進を図る。</p> <p>(1) 留学生会館運営事業費補助 (2) 留学生地域定着・活躍促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生地域定着促進イベントの開催 (参加留学生数 2023年度：275名、2024年度：464名、2025年度：3月実施予定) ・留学生インターンシップの実施 (参加留学生数・企業数 2023年度：124名・48社、2024年度：135名・58社、2025年度：97名・30社) ・企業見学ツアーの開催 ・企業向け留学生採用・定着研修会の開催 ・留学生積極採用企業採用紹介ウェブサイトの運営 	政策企画局
外国人材の受入促進	<p>(1) あいち外国人受入サポートセンター（2025年4月開設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業及び外国人向け相談窓口の設置 ・企業向け伴走型支援・セミナーの実施 ・合同企業説明会の実施 ・働く上で必要な日本語研修の実施 <p>(2) 海外人材確保支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外オンライン合同企業説明会の開催 ・インターシップ支援 	労働局
外国人介護人材の受入促進	<p>(1) 介護留学生への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士養成施設が行う日本語学習の補講等の必要経費を助成 ・介護福祉士国家資格を目指す留学生に対して介護施設等が支給する奨学金等に必要経費の助成 <p>(2) 外国人介護人材の受入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材の受入に関するセミナーの開催 ・外国人介護人材を受け入れる介護施設等が実施する、日本語や介護技術の学習、生活支援に必要な経費の助成 ・外国人介護人材に対して介護技術向上のための研修等を実施するために必要経費の助成 ・経済連携協定に基づき入国する外国人介護福祉士候補者に対し、受入施設が実施する日本語及び専門知識の学習に必要な経費の助成 ・受入事業者等が実施する環境整備や海外での人材確保の取組への助成 	福祉局

<p>外国人の起業、創業支援</p>	<p>外国人起業家の受入を促進することで、産業の国際競争力の強化及び国際的な経済活動拠点の形成を図る。</p> <p>(1) あいち外国人起業&経営支援センター事業 相談件数：2023年度 126 件、2024年度 133 件、2025年度 77 件 (12月末時点)</p> <p>(2) 外国人起業活動促進事業</p> <p>(3) 外国人創業活動促進事業</p>	<p>経済産業局</p>
<p>外国人に対する学習支援</p>	<p>(1) 若者・外国人未来塾の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校中退者等を対象とした高卒認定試験合格のための学習支援（県内9地域） ・外国人を対象とした日本語学習支援（県内6地域） <p>(2) 夜間中学の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とよはし中学校（2025年4月開校） ・とよた、こまき、いちのみや中学校（2026年4月開校） <p>(3) 中高一貫校（第二次導入校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語のみならず母語も活かした学びにより、外国にルーツのある生徒の能力を伸ばし、可能性を広げる <p>(4) 外国人児童生徒日本語教育支援事業費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語初期指導教室及びプレスクールの運営並びにICTを活用した教育・支援に係る経費の助成 (2023年度：16市、2024年度：17市、2025年度：18市（1月末時点）) 	<p>教育委員会</p>
<p>多文化共生事業の推進</p>	<p>(1) 「あいち多文化共生推進プラン」の推進</p> <p>(2) 「多文化共生フォーラムあいち」の開催</p> <p>(3) 多文化共生の情報を集約した総合的なポータルサイトの内容の充実</p> <p>(4) あいち地域日本語教育推進センターの運営</p> <p>(5) 地域日本語教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における初期日本語教室の開催 (2023年度：3市町村、2024年度：3市町村、2025年度：2市町村) ・地域日本語教育の指導者及びコーディネーター等の育成 ・オンラインでの初期日本語教室の開催 ・多文化共生日本語スピーチコンテストの開催 ・多文化子育てサロンの設置促進 <p>(6) 地域日本語教育の取組に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県地域日本語教育推進補助金 (2023年度 17市町村 6協会、2024年度 16市町村 5協会、2025年度 19市町村 5協会) ・NPO等が実施する日本語教室への補助 (2023年度 4団体、2024年度 4団体、2025年度 4団体) <p>(7) 愛知県災害多言語支援センターの体制整備</p> <p>(8) あいち医療通訳システムの普及・質の向上</p> <p>(9) ウクライナ避難民への生活支援</p>	<p>県民文化局</p>

多言語による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> (1) 愛知の住みやすさに関する英語パンフレット「LIVABLE AICHI」による情報発信 (2) 県 Web サイトの外国語ページによる情報提供 (3) 自動翻訳機能を活用したリアルタイムでより多くの言語で県 Web サイトの掲載情報の提供 	総務局
外国人人材の活躍を支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> (1) あいち外国人材適正受入れ・共生推進協議会の開催 (2) 駐日大使等を招いた、地元官財界の代表者との交流・懇談会及び視察会の開催 (3) 在名外国公館の活動支援、新たな外国公館の誘致 	政策企画局
国際感覚の醸成	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自治体国際化協会（クレア）からあつ旋された外国青年の国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）としての雇用の促進 (2) 国際交流、国際協力活動の推進 (3) 国際化の推進役となる人材の育成 (4) 国際化に関する調査研究・情報提供 	政策企画局 県民文化局
国際業務に対応できる職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自治体国際化協会への職員の派遣 (2) 独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）への職員の派遣 (3) 国際連合地域開発センター（UNCRD）への職員の派遣 (4) 日本政府観光局（JNTO）への研修員派遣 (5) 職員の通訳・翻訳研修及び国際ビジネスコミュニケーション研修の実施 	政策企画局 経済産業局 観光コンベンション局

■愛知ならではの多様な魅力の発信

主な施策	概要	担当部局
国内外向け情報発信の強化	県広報誌及び広報動画を多言語（日・英・中）で制作し、愛知の魅力を発信。	政策企画局
あいち・とこなめスーパースイティ構想	中部国際空港島・周辺地域を中心に、我が国を代表する国際観光都市を実現するとともに、最先端技術、サービスの社会実装フィールドとすることでイノベーション創出の拠点化を推進。	政策企画局
愛知万博20周年記念事業の開催	<p>愛知万博の理念と成果の再認識・継承を図るとともに、愛知県の魅力を国内外に向けて発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛称：愛・地球博20祭 ・会期：2025年3月25日（火）～9月25日（木）[185日間] ・会場：愛・地球博記念公園 ・メインテーマ：つなぐ 未来（あした）へ ・総来場者数：約191万人 <p><イベント概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球市民交流センターや園内各所で、万博の理念や成果を伝える展示・装飾等による常設展示を展開 ・月ごとにテーマを決めた実行委員会主催のイベントのほか、企業や団体等様々な主体と協力して、見て、触れて、感じて楽しむことができる様々なイベントを開催 ・ジブリパークと連携したイベントを開催 ・同時期に開催された大阪・関西万博と連携 	政策企画局
ジブリパーク推進事業	ジブリパーク全5エリア開園による効果を活かし、周辺地域の更なる発展・活性化につなげるため、国内外への魅力発信等の方策について、周辺自治体・鉄道事業者と協議。	政策企画局
ハート・オブ・ジャパン誘客促進事業	<ol style="list-style-type: none"> (1) 県公式観光ウェブサイト及びSNSによる多言語での観光情報の発信 (2) フランス市場向けの誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・フランス・パリで開催された JAPAN EXPO に出展 (2023年7月) ・フランスメディア招請による情報発信 (2024年度) (3) 外航クルーズ船の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・ポートセールス ・国内ランドオペレーターへのセールスコール ・名古屋港寄港時の観光案内 ・三河港寄港地観光コンテンツの造成 ・「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」への出展 (2025年9月25日～28日) (4) 公式ガイドマップの内容更新・増刷 <ul style="list-style-type: none"> ・日、英、中（簡・繁）、韓、タイ、ベトナム 	観光コンベンション局

外国人旅行者誘致強化	オーストラリア・フランス（2020～2022年度）、タイ（2020～2023年度）、ベトナム・インドネシア（2020～2024年度）、米国（2020～2025年度）、台湾（2025年度）に海外観光レップを設置し、現地目線での効果的なセールス活動等を年間通じて実施	観光コンベンション局
国際観光推進	<p>(1) (一社) 中央日本総合観光機構への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング、ブランディング戦略の策定 ・観光資源の発掘、磨き上げ 等 <p>(2) 東海地区外国人観光客誘致促進協議会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外でのプロモーション、旅行会社・メディア・インフルエンサーの招請 <p>(3) 中部国際空港利用促進協議会等連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部国際空港へ就航する路線の維持・拡充及び利用促進の支援 	観光コンベンション局
アジア観光客誘致促進	<p>(1) アジア市場向けの誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行博への出展及び現地旅行会社へのセールスコール ・中部国際空港株式会社と共同した SNS による情報発信 ・インフルエンサー等の招請及び動画制作 <p>(2) ムスリム向けの誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者向けセミナーの開催 ・ムスリムメディアとムスリム留学生の招請及び情報発信 ・SNS によるキャンペーンの実施 <p>(3) 日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日台観光サミットへの出席 ・台湾での商談会の開催 	観光コンベンション局
外国人旅行者受入環境整備	<p>多言語コールセンターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日運営 ※一部時間帯を除く（9言語対応） 	観光コンベンション局
外国人旅行者観光コンテンツ造成	訪日外国人旅行者向け体験型コンテンツの造成・販売支援	観光コンベンション局
アジア・アジアパラ競技大会の開催を活用したインバウンド観光の促進	<p>2026年に愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会を契機とした、来県が期待される各国・地域へのプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社・メディア・国内ランドオペレーターへの招請、商談会の開催 ・ネイティブライター等専門人材の観光施設への派遣による多言語表記の整備支援 ・報道関係者を対象としたエクスカージョンの実施 ・OTA（Online Travel Agent）と連携したプロモーションの実施 ・多言語パンフレットの作成・配布による観光プロモーション 	観光コンベンション局
アジア・アジアパラ競技大会の開催準備	<p>アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技、輸送、宿泊、警備等大会運営に関する事業の推進 ・大会のPR及び大会を活用した地域活性化の推進 	アジア・アジアパラ競技大会推進局

<p>愛知「発酵食文化」振興事業</p>	<p>愛知「発酵食文化」振興協議会において、地域をあげた愛知の「発酵食文化」の振興・国内外への魅力発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Web・SNS での情報発信（英語・中国語（簡・繁）） ・ セミナーの開催 ・ 展示会への出展 ・ ポスター、チラシ、ブランドブック作成（英語） ・ 体験型旅行商品の創出 	<p>観光コンベンション局</p>
<p>国際会議等誘致推進</p>	<p>(1)「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」の運営</p> <p>2023 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外 MICE 見本市への出展 国内：IME2024（於：東京）2024 年 2 月 15 日、商談件数 25 件 国外：IT&CM Asia（於：タイ・バンコク） 2023 年 9 月 26 日～28 日、商談件数 76 件 ・ 海外セミナー・商談会への参加 シンガポール（商談件数 13 件）・台湾（商談件数 7 件） <p>2024 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外 MICE 見本市への出展 国内：IME2025（於：東京）2025 年 2 月 13 日、商談件数 16 件 国外：IT&CM Asia（於：タイ・バンコク） 2024 年 9 月 24 日～26 日、商談件数 32 件 ・ 海外セミナー・商談会への参加 台湾（商談件数 5 件） <p>2025 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外 MICE 見本市への出展 国内：IME2026（於：東京）2026 年 2 月 12 日、商談件数 27 件 国外：IMEX America（於：アメリカ・ラスベガス） 2025 年 10 月 7 日～9 日、商談件数 28 件 ・ 台湾での商談会の開催 <p>(2) 国内キーパーソン等への情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県への国際会議誘致に影響力を有するキーパーソンへのヒアリングの実施 <p>(3) 日本政府観光局（JNTO）への研修員派遣</p> <p>(4) ツーリズム EXPO ジャパンの誘致、開催支援 「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」 会期：2025 年 9 月 25 日（木）～28 日（日） 会場：Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催地連絡協議会の運営 ・ ブース出展による地域の魅力発信 <p>(5) 「AXIA EXPO」の開催 先端テクノロジーや水素・アンモニア等の新エネルギーに関して、国内外の企業等が出展する愛知発の国際産業展を開催</p> <p>2024 年度：出展者数 193 社・団体、来場者数 11,759 人(併催含む) 2025 年度：出展者数 250 社・団体、来場者数 13,084 人(併催含む)</p>	<p>観光コンベンション局</p>

<p>あいち国際 女性映画祭</p>	<p>男女共同参画の視点から様々な映画を上映し、トークイベント等の実施により、映像文化を通じた女性の社会進出の支援、男女共同参画意識や国際交流に関する理解を促進。</p> <p>2023年度：開催時期：2023年9月15日（金）～18日（月・祝） 上映作品：37作品 入場者数：9,941人</p> <p>2024年度：開催時期：2024年9月5日（木）～8日（日） 上映作品：36作品 入場者数：12,896人</p> <p>2025年度：開催時期：2025年9月11日（木）～15日（月・祝） 上映作品：42作品 入場者数：15,269人</p>	<p>県民文化局</p>
<p>国際芸術祭 の開催</p>	<p>国際芸術祭「あいち 2025」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：灰と薔薇のあいまに A Time Between Ashes and Roses ・芸術監督：Hoor Al Qasimi（フール・アル・カシミ）[シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター、国際ビエンナーレ協会（IBA）会長] ・会期：2025年9月13日(土)～11月30日(日) [79日間] ・主な会場：愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなか ・総来場者数：524,069名 <p><事業展開></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外のアーティストの作品展示などで、国際色豊かな現代美術を紹介 ・愛知県美術館を含む愛知芸術文化センターや、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかでの作品展示など、県内の広域で展開 ・国内外の先鋭的な演劇、ダンスなどの舞台芸術作品を上映 ・幅広い層を対象とした様々な「ラーニング・プログラム」の実施 ・県内の芸術大学を始め、多様な主体との連携による事業を展開 ・参加アーティストによる短期間の巡回展示を県内数か所で開催 	<p>県民文化局</p>
<p>技能五輪国 際大会</p>	<p>(1) 技能五輪国際大会の招致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招致に向けて国等との調整 ・招致機運醸成を図るイベントの実施 ・大会運営組織である WSI 加盟国・地域への支持要請 ・WSI 総会において愛知での開催を PR し、2028年大会の開催地に決定（2024年9月） <p>(2) 技能五輪国際大会の開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2028年技能五輪国際大会の準備・運営を担う組織委員会を国と設立（2025年8月） ・県内の大会開催機運を醸成するための事業の実施 	<p>労働局</p>

世界コスプレサミットの開催支援	<p>新たな国際交流の創造を目的に、日本のアニメ・マンガを愛する世界中のコスプレイヤーが集まる国際的なコスプレイベントである「世界コスプレサミット」の開催を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応やオンライン配信を実施する当イベントへの支援の実施 	観光コンベンション局
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知開催支援	<p>世界最大の女子マラソン「名古屋ウィメンズマラソン」や女子車いすマラソン「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン」等の開催・支援</p>	スポーツ局
あいちスポーツコミッションの運営	<p>全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「あいちスポーツコミッション Web サイト」による情報発信（日本語・英語） (2) 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」における地域の魅力発信 (3) 「FIA 世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン」における地域の魅力発信 (4) 「ISU グランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会愛知・名古屋 2025」の開催・支援 	スポーツ局
IG アリーナの整備・運営	<p>世界トップレベルのグローバルアリーナ「愛知国際アリーナ（IG アリーナ）」の整備・運営（2025年7月開業）</p>	スポーツ局
高級ホテル立地促進	<p>ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致及び地域のブランド力向上に資する高級ホテルの立地を促進するため、名古屋市と連携して、高級ホテルの新設を行う事業者に対する補助を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業認定済ホテル：3件（2023年開業：1件、2025年開業：1件、2026年開業予定1件） ・2025年5月1日から認定申請受付を再開（2030年3月31日まで） 	観光コンベンション局
空港機能の強化	<p>国内・国際線ネットワークの維持・拡大のための取組を推進</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 中部国際空港の国際路線の復便や拡充を図るため、航空会社等に対して知事等によるエアポートセールスの実施 (2) 中部国際空港利用促進協議会による中部国際空港の需要拡大に向けた取組の実施 (3) 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国等への要望、中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会を通じた取組の実施 (4) 中部国際空港の代替滑走路の整備への支援 (5) 県営名古屋空港における国際ビジネス機の受入促進に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・全米ビジネス航空協会（NBAA）SDC（スケジューラー&運航管理者会議）への参加 	都市・交通局

<p>三河港利用 促進・ 競争力強化</p>	<p>港湾航路を維持・拡充し、更なる利用促進のための取組を実施 (1) 三河港利用促進戦略検討調査 (2) 三河港ポートセールス海外ミッション</p>	<p>都市・交通 局</p>
<p>外航クルーズ船の誘致</p>	<p>外航クルーズ船の誘致に向けた取組を実施 (1) 三河港 ・ポートセールス ・三河港施設概要作成 ・「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」への出展 (2025年9月25日～28日) ・ランドオペレーター招請ツアーの実施 (2) 常滑港 ・ポートセールス ・「常滑港クルーズ船誘致連絡会議」の開催 ・観光コンテンツの磨き上げ ・「クルーズフェスティバル名古屋 2025」への出展 (2025年4月13日)</p>	<p>都市・交通 局</p>

■愛知型成長モデルによる産業の国際競争力強化

主な施策	概要	担当部局
STATION Ai プロジェクトの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備・運営（2024年10月開業） ・スタートアップへの支援プログラム等の実施 	経済産業局
海外スタートアップ支援機関との連携による推進	<p>スタートアップ・エコシステム先進地のスタートアップ支援機関と連携し、スタートアップの創出・育成やスタートアップ・エコシステムを根付かせるための各種取組を実施</p> <p>(1) シンガポール国立大学（NUS）との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MOUに基づく研究交流、NUSと県内企業ニーズのマッチング（2023年度1回、2024年度1回、2025年度1回） ・県内の企業等と国内外のスタートアップ等による協業プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> 2023年度：企業2社、スタートアップ9社 2024年度：企業2社、スタートアップ9社 2025年度：企業4社、スタートアップ9社 ・シンガポールで行われる展示会へのスタートアップ出展（2023年度3社、2024年度4社、2025年度8社） ・起業家養成プログラムへ県内大学（院）生の派遣（2023年度3名、2024年度3名、2025年度3名） ・東南アジア市場へのビジネス展開支援プログラムへ県内スタートアップの派遣 <p>(2) テキサス大学オースティン校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内スタートアップ・エコシステム関係者を対象としたワークショップの実施 ・海外事業展開を目指すスタートアップに対する市場化支援の実施（2023年度3社、2024年度3社、2025年度3社） ・SXSWへの県内スタートアップの出展支援（2024年度3社、2025年度3社） ・テキサス州への起業家等の派遣（2024年度5名、2025年度4名） <p>(3) カリフォルニア大学バークレー校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県とカリフォルニア大学バークレー校とのスタートアップ支援における連携協力に関する覚書締結（2024年12月） ・バークレー・スカイデックと連携した海外展開支援プログラムの実施 <p>(4) フランスのスタートアップ支援機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Paris&Coの有するノウハウを共有するセミナー等の実施 ・INSEADによるイントレプレナーシップ教育プログラム及び新規事業創出プログラムの実施 ・IMT Atlantiqueと県内大学との共同研究や交流の促進 ・STATION Fが主催するイベント等への県内スタートアップ派遣 	政策企画局 経済産業局

	<p>(5) 中国のスタートアップ支援機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清華大学との連携による県内スタートアップの中国展開支援や中国企業とのマッチングを実施 ・上海交通大学と連携した中国で開催される展示会等へのスタートアップの出展支援 ・浙江大学及び上海交通大学との連携による学生交流の創業支援プログラムの実施 <p>(6) ドイツのスタートアップ支援機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ・NRW州スタートアップ支援機関との連携 <p>(7) 韓国のスタートアップ支援機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国・慶尚南道と「スタートアップ支援に関する覚書」を締結 (2023年9月26日) <p>(8) ポルトガルのスタートアップ支援機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポルトガル経済省と「スタートアップ支援に関する覚書」を締結 (2024年7月5日) ・Startup Portugal と「スタートアップ支援に関する覚書」を締結 (2024年7月5日) <p>(9) スペインのスタートアップ支援機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン・マドリード州と「スタートアップ支援に関する覚書」を締結 (2024年7月8日) <p>(10) 世界トップレベルのアクセラレータによるプログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の産業特性を踏まえた事業領域で活動するスタートアップを対象としたアクセラレータプログラムの実施 2024年度：GX5社、マニュファクチャリング5社 2025年度：GX5社、マニュファクチャリング5社 ・海外スタートアップと県内企業の協業を促進するプログラムの実施 (2023年度：15社、2024年度：17社、2025年度：18社) <p>(11) スタートアップ支援先進国への研修生派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ・シリコンバレーへの派遣 ・中国・Tus への派遣 <p>(12) 「TechGALA Japan」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル拠点都市コンソーシアムの主要メンバーと連携し、国内外のスタートアップ、事業会社、投資家等が集うスタートアップに関するグローバルイベントを開催 2024年度：来場者数 5,017名、参加国数 22カ国 2025年度：来場者数 5,528名、参加国数 39カ国 	
海外との連携による水素産業の推進	<p>海外の水素産業先進地域と連携したセミナーを開催。 2024年度：1回 (ドイツ・NRW州)、2025年度：2回 (ドイツ・NRW州、カナダ・ブリティッシュコロンビア州)</p>	経済産業局
海外産業情報センター運営	<p>海外産業情報センター (上海、バンコク) の運営を通じて県内中小企業等の海外活動支援を実施。 相談件数：2023年度 439件、2024年度 593件、2025年度 626件 (1月末時点)</p>	経済産業局

国際ビジネス 支援拠点運営	海外展開に必要な支援を総合的に行うことを目的に、県内中小企業の海外展開を支援するワンストップサービス拠点である「あいち国際ビジネス支援センター」を運営。 センター利用件数：2023年度 1,326件、2024年度 1,283件 2025年度 950件（12月末時点）	経済産業局
アジア経済 連携推進	（1）サポートデスクによる本県進出企業支援 サポートデスクにおいて、進出企業からの各種相談対応や情報提供等を行うとともに、本県からの進出企業間のネットワークの形成等、海外進出を図る県内中小企業等を総合的に支援。 ＜サポートデスク＞ 中国・江蘇省（蘇州）、ベトナム（ハノイ）、インド（ニューデリー）、インドネシア（ジャカルタ） サポートデスクにおける相談件数： 2023年度 133件、2024年度 169件、2025年度 81件（12月末時点） （2）提携先地域との経済交流の促進 インドネシア経済交流会の開催（2024年） （3）フィリピン貿易産業省との連携 フィリピン貿易産業省と「経済交流に関する覚書」を締結（2026年2月16日）	経済産業局
ジェトロ名古屋との連携	ジェトロ名古屋と連携し、外国企業誘致、県内中小企業等の輸出促進事業への支援、貿易・投資相談への対応、国際経済情報の提供等の各種事業を実施し、地域経済の国際化を支援。	経済産業局
中小企業金融 対策貸付金	海外展開に係る事業に取り組む中小企業者を対象とした制度融資の実施	経済産業局
民間企業との 連携	商社や金融機関と連携し、県内企業の海外展開を支援。 ・豊田通商、双日、住友商事、丸紅 ・名古屋銀行、あいち銀行、三菱UFJ銀行	経済産業局
欧州経済連 携推進	提携先地域との経済交流の促進 ・フランス・AuRA地域圏との交流 ・フランス・オクシタニー地域圏との交流	経済産業局
見本市を活用 した海外販路 拡大支援	（1）グローバル・インダストリーの日本版である「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」の開催（2024年3月） 出展社数：235社、来場者数：10,072名 （2）海外展示会に出展する県内企業への出展支援 ・グローバル・インダストリーへの愛知県ブースの出展 出展企業：2024年度 9社、2025年度 9社（予定） （3）国際見本市（メッセナゴヤ）の開催 一層の産業振興を目指し、経済界、名古屋市と連携して、製品・技術やサービスの情報を発信し、様々なビジネスチャンスを国内外に幅広く提供する場として、国際見本市を開催	経済産業局

	<p>2023年度：出展者数 823 社・団体、来場者数 52,876 名 2024年度：出展者数 778 社・団体、来場者数 52,742 名 2025年度：出展者数 844 社・団体、来場者数 50,705 名</p> <p>(4) 海外見本市等への出展費用補助 米国関税措置対策として、中小・中堅企業を支援。 2025年度：32 社</p>	
航空宇宙産業の販路開拓支援	<p>愛知県における航空宇宙産業の継続的な発展を地域が一体となって推進するため、愛知県、名古屋市、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学によりコンソーシアム（2018年8月～）を組織し、県内企業の海外販路開拓を支援。</p> <p>(1) 「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」の運営 (2) 展示会・商談会出展支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パリ・エアショー2023（出展支援 5 社） ・エアロマート名古屋 2023（出展支援 39 社） ・エアロマート・トゥールーズ 2024（出展支援 4 社） ・2024 国際航空宇宙展（出展支援 19 社） ・パリ・エアショー2025（出展支援 8 社） ・エアロマート名古屋 2025（出展支援 35 社） ・シンガポール・エアショー2026（出展支援 6 社） <p>(3) 展示会・商談会における現地調査・情報収集の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポール・エアショー2024 ・エンジンフォーラム神戸 2024 <p>(4) 海外の行政機関やクラスター団体等との連携の推進</p>	経済産業局
あいちの農林水産物の輸出拡大促進	<p>(1) あいちの農林水産物輸出プロモーションの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出拡大に係る対応策の検討 ・国内商談会への出展と商談支援 ・海外セールスプロモーションへの出展支援 ・オンラインツールの活用による販路開拓支援 <p>(2) あいちの農林水産物の輸出促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出促進会議の開催及び輸出に関する情報提供の実施 	農業水産局
外国企業誘致促進	<p>(1) INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 ・外国企業等の当地域への進出支援に関するセミナー等の開催 ・当地域へ進出を検討している外国企業向けアクセラレーションプログラムの実施 ・外国企業等と当地域のモノづくり企業、大学及び研究機関等との商談会の実施 ・外国企業等展示会出展支援 ・外資系企業ネットワーク懇談会の開催 <p>(2) GNIC（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会）との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国企業等の進出支援、ビジネスマッチング等の実施 	経済産業局